

Vol. 2 豊川市ファシリティマネジメント

公共施設再編まちづくり計画ニュース

豊川市総務部管財契約課

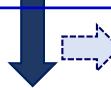
電話 0533-89-2108 FAX 0533-89-2163

<http://www.city.toyokawa.lg.jp/shisei/gyosei/unei/manejiment/facilitymanagement.html>



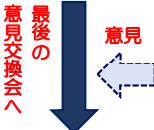
スケジュール

□第1回意見交換会 H27.10.13(火)



□現地視察（先進地）H27.12.1(火)
豊橋市大清水まなび交流館（愛称：ミナクル）

□第2回意見交換会 H28.1.25(月)



□小坂井庁舎周辺の各ゾーン・導入機能
(案)について、第3回意見交換会に向けて、ご意見をお願い致します。
2月中旬〆切予定

□第3回意見交換会 H28.3.28実施予定

○各ゾーン・導入機能（案）についての集約意見と課題について
○来年度の取り組み方針について

■第2回小坂井エリア公共施設再編意見交換会を実施しました

平成28年1月25日(月)に第2回小坂井エリア公共施設再編意見交換会を開催しました。第2回では、豊橋市の先進事例である大清水まなび交流館(愛称:ミナクル)への現地視察の報告、小坂井中学校で行われましたワークショップ(全2回)の結果報告、小坂井庁舎周辺の各ゾーン・導入機能(2案)の提示及び意見交換を行いました。

議事

- 地視察(大清水まなび交流館)及び小坂井中学校ワークショップの報告
- 小坂井庁舎周辺の各ゾーン・導入機能(案)

■現地視察(大清水まなび交流館)の報告

平成27年12月1日に豊橋市大清水まなび交流館へ現地視察を行いました。

《質疑・応答》

- 地区市民館が対象とするエリアは?
⇒南陵中学校(4小学校)を対象としている。図書館は、南部地区のもっと広いエリアから来ている。
- ここをこうしておけば良かったという点は?
⇒バックヤードが少なく、職員の食事や休憩に困る。
図書館の閉架が無いため、蔵書をあまり増やせない。



《意見交換会メンバー感想》

- 現在の小坂井支所でできる機能は残して欲しい。
- 現在の生涯学習会館には、120名以上収容できる集会室がある。小坂井地区は、大清水地区よりも範囲も広いため、ミナクルには無い集会室が必要である。



■小坂井中ワークショップの報告

第1回の活動内容

中学校・体育館の好きな所、直したい所、どうしたい？

【開催日】平成27年12月3日】

- 小坂井中学校の生徒のみなさんが、A～Eの5グループに分かれ、各班に豊橋技術科学大学の学生さんも加わり、未来の中学校をどんな中学校にしたいか、どんな体育館にしたいか、いろいろな意見を出し合いました。



第2回の活動内容

【開催日】平成27年12月17日】

- 第1回で出された意見から、各班で実際に模型を切ったり、並び替えたり、貼ったりして手を動かしながら未来の中学校をどのようにしていきたいか、アイディアを形にしていきました。完成した模型について、各班で発表を行い最後に投票形式で一番良い案を決めました。

各班のコンセプト

A班	運動場を広くする、体育館と校舎をつなげる！
B班	日のあたる学校！
C班	教室を便利に、体育館に地下を作って広く！
D班	校舎・体育館を便利に、グラウンドを広く！
E班	グラウンドを屋外に置く！



B班：日のあたる学校！ 13票

■小坂井庁舎周辺の各ゾーン・導入機能（案）

【パターンA】～類似施設を2つの施設へ～

	<p>方針</p> <ul style="list-style-type: none"> A1施設は、小坂井支所、小坂井生涯学習会館、小坂井図書館を複合化させたパターン A2施設は、小坂井東保育園、こざかい児童館を複合化させたパターン 小坂井東児童クラブは小坂井東小学校の校舎内に複合化を検討 <p>機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ①支所機能、貸室機能、コミュニティ機能、図書館機能 ②児童館機能、保育機能 <p>メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> 不特定多数が利用する施設と利用者が限定される施設をそれぞれ独立し複合化することが可能 子育て支援施設を1つの建物に集約可能であり、子育て中の保護者の利便性が向上 <p>デメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> 複合化された施設が2つとなるため、共有スペースの共通化による削減効果は他案より小さい 複合化された施設が2つとなるため、建設コストアップが予想される
--	---

【パターンB】～全ての施設を一体施設へ～

	<p>方針</p> <ul style="list-style-type: none"> B施設は、小坂井支所や小坂井生涯学習会館及び小坂井図書館、こざかい児童館、小坂井東保育園を複合化させたパターン 小坂井東児童クラブは小坂井東小学校の校舎内に複合化を検討 <p>機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ①支所機能、貸室機能、コミュニティ機能、図書館機能、児童館機能、保育機能 <p>メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> 園児から小中学生高齢者に至るまで新たな多世代交流や地域活動の促進 保育園等の跡地活用による財政面への貢献 <p>デメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> 特に保育園と一般利用施設間のセキュリティ確保が必要 屋上あるいは敷地内に保育園の園庭スペースを確保する必要がある (2才以上児数×3.30 m²以上)
--	---

前回の意見交換会でお示しした小坂井エリアの現状、課題と施設の再編方針から、今回は小坂井庁舎周辺の各ゾーン、公共施設の導入機能案を2案【パターンA、パターンB】提示しました。こちらの2案について、委員の方々から以下のようないい意見をいただきました。

【意見】

- 中学校の体育館が校舎から離れるることは望ましくない。教育ゾーンは生徒の立場であれば敷地内で考えたほうが良い。
- 学校用プールの使用期間は確かに限られるが、体育館と同様に教育ゾーン内に収めたほうが良い。
- パターンBは、園児から高齢者に至る世代間の交流が期待できるが、セキュリティ面での課題がある。全国的な事例がないか調べてみると良い。
- パターンBで、保育園に運動場がない場合は、受け入れがたいと思う。
- 2歳前後の児童は、他世代と別のゾーンにするべきだと思う。パターンAは保育園単体であるため、パターンBよりも園児に対する環境は良い。
- セキュリティ面が確保できれば保育園も他施設と複合化しても良いと思う。
- 児童クラブが小学校と複合化すれば、空いたスペースを有効活用できる。
- 母親としてはA案のほうがB案よりもわかりやすいため、受け入れやすい。世代交流地点は世代毎に分けたほうが使い勝手は良い。
- 日陰、交通状況や砂埃などにも配慮してほしい。
- 学校などは他の施設とゾーンを分けるべきだと思う。また、高齢者が利用できる施設にもう少し配慮してほしい。
- ここが防災拠点となることも考えられるため、トイレ等の非常用設備の整備が必要である。
- 子どもたちの意見を大いに大切にしてほしい。

【まとめ】

今後は各団体からいただいた意見を踏まえ、次回意見交換会に施設配置などを提示していきたいと思います。

＜問い合わせ先＞

豊川市総務部管財契約課 電話 0533-89-2108 FAX 0533-89-2163

<http://www.city.toyokawa.lg.jp/shisei/gyoseiunei/manejiment/facilitymanagement.html>